街歩きヒストリア

⑰ 洞門寺（どうもんじ）の「さする石」

中央公民館からJR新白島駅方面に歩いて 5 分のところにある「洞門寺」。浅野家家臣であった小野覚雲が創建し、廃藩置県の後に民衆に開放したと言われています。

境内には、不思議なご利益があるという「さする石」が鎮座しています。この石は火を鎮める神、秋葉権現の御神体で、水をかけて掌でさすると所願成就の福音を与えられると言われています。

私も新型コロナウイルス収束への願いを込めてさすりました。　（文・小川敏明さん）

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。

HP（検索：広島市中央公民館）にバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください。